

科目名 Course Name	介護の基本 I Fundamentals of Care I			ナンバリング No.	J1-005		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	片桐 幸司						
連絡方法	C-Learning 対応						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>生活支援をする専門職としての本となる考え方を学ぶ。わが国のさまざまな介護問題を通して、介護の専門職としての社会的役割と職務についての理解を深める。</p> <p>①現代日本における介護問題を調べ、発表できるようにする。 ②他者の発表を聴くことを通して、介護福祉士を取り巻く状況と問題を説明できるようにする。 ③日本でなぜ介護福祉士が誕生したのか、社会的な背景と関連させ説明できるようにする。 ④介護福祉士の役割と専門職能団体の機能について、説明できるようにする。 ⑤身体拘束の演習を通して、人権を尊重した適切な介護とは何かを考え支援できるようにする。</p>						
授業の方法	講義を主とするが課題学習も取り入れ、学生が自ら調べ考え発表する機会を設ける。						
学習成果	L01						
	L02	様々な社会的背景による介護問題と介護福祉士を取り巻く状況を把握し、介護を担う専門職として求められる社会的役割を説明することができる。					
	L03						
	L04	人権尊重とは何かを常に考えながら、介護を実践する態度を身につけることができる。					
課題に対するフィードバック	レポート課題にはコメント記入・評価後学生に返却。						
教科書/参考図書	① 最新・介護福祉士養成講座第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版 ② 介護福祉用語辞典 中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	講義・グループ学習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:障害者支援施設生活支援員(身体・知的) 職歴:6年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム介護職員 職歴10年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム施設長 職歴5年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。課題学習時には協力して取り組み、自ら積極的に発言して学びを深められること。		10		
レポート/作品	「虐待及び身体拘束」について資料を配布してレポートをまとめる。評価基準Sは、課題を十分理解し、虐待及び身体拘束の予防や適正化について十分な理解に達していること。期限内提出を厳守。				20
発表	求められた内容について発表する。課題を十分に理解したうえで、自身の言葉で分かりやすい発表であることを目指すこと。		10		10
小テスト	なし				
試験	「虐待及び身体拘束」に関するレポートの提出50%、期末試験結果50%で成績を評定する。期末試験の説明は第10回授業で行う。				50
その他					
合計			20		80

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 「介護」をどのように捉えるか。自身と他者が持つ介護や介護の仕事のイメージを共有する。
	事前・事後学習	自身もつ「介護」のイメージ、介護の仕事のイメージを簡条書きにしておく。
2	授業内容	介護福祉の基本となる理念① 介護の成り立ちや介護の意味 身近になった介護サービスを知る。
	事前・事後学習	テキスト p2～p4 を読み、介護の成り立ちや意味を確認しておく。
3	授業内容	介護福祉の基本となる理念② 介護福祉を取り巻く状況を確認し、介護需要の変化や家族機能の変化地域社会の変化と介護ニーズの複雑化介護福祉職の多様化を学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p5～p19 を読み、現代の介護福祉を取り巻く環境に触れておく。
4	授業内容	介護福祉の歴史① 老人福祉法の制定にいたるまでの社会福祉政策、1970～80 年代の介護サービスを概観する。
	事前・事後学習	テキスト p21～p37 を読み、昭和時代の介護福祉の歴史を確認する。
5	授業内容	介護福祉の歴史② 1990 年代～2000 年以降の介護福祉を概観し、年表作成のための情報収集と整理を行う。
	事前・事後学習	テキスト p38～p51 を読んでおくこと。次回の年表作成のための情報を整理しておく。
6	授業内容	介護福祉の年表・・・「介護福祉年表」の作成 1874(明治 7)年の恤救規則から 2011(平成23)年までの介護福祉に関連する出来事を個人ワーク、グループワークを通じて年表にまとめる【ワークシート作成・提出】
	事前・事後学習	年表を作成して提出する。科目の成果(評価)にかかるとなるものなので必ず提出すること。
7	授業内容	介護福祉の基本理念① 介護福祉の基本理念(尊厳と自立の支援)を通じて、ノーマライゼーション、QOL、利用者主体、基本的人権と権利擁護を学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p53～p56 を読み、利用者の主体の意味を確認しておく。
8	授業内容	介護福祉の基本理念② 尊厳と自立を支える介護とはどのようなことなのかを知る。自身の尊厳(自分らしさ)と自立を考察し、個人ワーク、グループワークを通じて理解を深める。【ワークシート作成・提出】
	事前・事後学習	尊厳(自分らしさ)、自立とはどのようなことかを簡条書きなどにして整理しておく。
9	授業内容	介護福祉士の役割と機能 社会福祉士及び介護福祉士法とその諸規定を知り、介護福祉士の定義や義務規定を理解する。
	事前・事後学習	テキスト p68～p75 を読み、社会福祉士及び介護福祉士法のあらましを確認しておく。
10	授業内容	介護福祉士の活動の場と役割① 地域包括ケアシステムとそれに伴う介護予防の考え方を概説 地域包括ケアシステムの目的や役割を知る。 <定期試験の説明>
	事前・事後学習	テキスト p77～p82 を読み、地域包括ケアシステムが推進される背景を確認しておく。
11	授業内容	介護福祉士の活動場と役割② 介護福祉士に医療的ケアが求められる背景を確認し、介護福祉士が活動する場と役割の理解を深める。 また、災害時における介護福祉士の役割を知る。
	事前・事後学習	テキスト p82～p92 を読み、医療的ケア導入と災害時の活動について確認しておく。
12	授業内容	介護福祉士に求められる役割とその養成① 介護福祉士養成の始まりとその後の拡大を知り、今後の展開について概説する。
	事前・事後学習	テキスト p94～p97 を読み、介護福祉士の養成の経緯を確認しておく。
13	授業内容	介護福祉士に求められる役割とその養成② 介護福祉現場での中心的役割を担う介護福祉士への期待とそのスキルについて、「リーダーの素養」とは何かを考える。
	事前・事後学習	テキスト p98～p106 を読み、介護福祉士に求められるリーダーの要素を確認しておく。
14	授業内容	介護福祉士を支える団体① 日本介護福祉士会、県介護福祉士会の理解をホームページ等の閲覧を通じて理解を深める。
	事前・事後学習	テキスト p107～p114 を読み、「職能団体」の意味に触れておくこと。
15	授業内容	介護福祉士を支える団体② 日本介護福祉教育学会、日本介護福祉学会の活動内容をテキスト、ホームページ等を通じて理解を深めて研究活動等の内容に触れる。
	事前・事後学習	テキスト p114～p115 を読み、2つの団体の目的等を確認しておく。